

京都市（平成 23 年 4 月 1 日から）

対象建築物	建築物	基礎工事に関する工程		建方工事に関する工程	
		特定工程	特定工程後の工程	特定工程	特定工程後の工程
(1) 主要構造部（床、屋根及び階段を除く）の全部又は一部を木造とした住宅、兼用住宅（延べ面積の 1/2 以上を居住に用に供するものに限る。以下同じ）長屋、共同住宅又は寄宿舎で、地階を除く階数が 2 以上又は延べ面積が 50 m ² を超えるもの（以下「2 階建て住宅等という。」） (2) 法別表第 1 (い) 欄に掲げる用途に供する特殊建築物で、その用途に供する部分の床面積の合計が 100 m ² を超えるもの（以下「特定特殊建築物という。」）	(1) 2 階建て住宅等	—	—	土台、柱、はり及び筋かい（以下この表において「木造の軸組」という。）を金物等により接合する工事の工程（枠組壁工法による場合は、木材で組まれた枠組みを設置する工事の過程）	木造の軸組を覆う床、壁及び天井を設ける工事の工程（枠組壁工法にあっては、枠組みを覆う屋内側の壁及び天井を設ける工事の工程）
	(2) 階数が 1 の特定特殊建築物	基礎又は地中はりの配筋工事の工程	基礎又は地中はりのコンクリートを打設する工事の工程	—	—
	(3) 階数が 2 以上の特定特殊建築物で主要構造部（床、屋根及び階段を除く。）の全部又は一部を木造としたもの	基礎又は地中はりの配筋工事の工程	基礎又は地中はりのコンクリートを打設する工事の工程	木造の軸組みを金物等により接合する工事の工程（枠組壁工法による場合にあっては、木材で組まれた枠組みを設置する工事の過程）	木造の軸組を覆う床、壁及び天井を設ける工事の工程（枠組壁工法にあっては、枠組みを覆う屋内側の壁及び天井を設ける工事の工程）
	(4) 階数が 2 以上の特定特殊建築物で主要構造部（床、屋根及び階段を除く。）の全部又は一部を鉄骨造としたもの	基礎又は地中はりの配筋工事の工程	基礎又は地中はりのコンクリートを打設する工事の工程	最初の床版を取り付ける工事の工程	鉄骨を覆う耐火被覆を設ける工事、外装工事、内装工事及び最初の床にコンクリートを打設する工事の工程
	(5) 階数が 2 以上の特定特殊建築物で主要構造部（床、屋根及び階段を除く。）の全部又は一部を鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造としたもの	基礎又は地中はりの配筋工事の工程	基礎又は地中はりのコンクリートを打設する工事の工程	2 階の床及びこれを支持するはりに鉄筋を配置する工事の工程	2 階の床及びこれを支持するはりのコンクリートを打設する工事の工程
	(6) 階数が 2 以上の特定特殊建築物で主要構造部（床、屋根及び階段を除く。）が混合したもの	基礎又は地中はりの配筋工事の工程	基礎又は地中はりのコンクリートを打設する工事の工程	2 階の床の構造の区分に応じ、(3)の項から(5)の項までに掲げる建方工事の特定工程	2 階の床の構造の区分に応じ、(3)の項から(5)の項までに掲げる建方工事に関する特定工程後の工程

備考：1. この表で「枠組壁工法」とあるのは、木材で組まれた枠組に構造用合板その他これらに類するものを打ち付けた床及び壁により建築物を建築する工法をいう。

2. 建築物の規模、敷地又は周辺の状況により、1 の建築物について複数の工区に分けて工事を行う場合にあっては、それぞれの工区における当該工事の工程を中間検査の対象とします。

適用除外：建築基準法第 18 条又は第 85 条の適用を受ける建築物及び法第 68 条の 11 第 1 項の規定による型式部材等の製造者としての認証を受けた者により製造された型式部材等を使用した建築物